



# 横手市山内消防団大健闘 第二五回 全国消防操法大会

題 字  
初代会長 松野 盛吉  
定 価 1部 48円  
(購読料は年会費に含む)

発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 中田 潤  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
http://www.shoubou-akita.or.jp  
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
http://www.matsubairainsatsu.co.jp

平成二十八年度全国統一防火標語  
消しましよ  
その火その時  
その場所で



第二五回全国消防操法大会は一月一四日(金)快晴の下、長野県長野市篠ノ井「南長野運動公園(長野オリンピックピクスタジアム)」において、全国四六都道府県(熊本県欠場)からポンプ車の部に二五消防団と小型ポンプの部に二消防団がそれぞれ出場し開催されました。

なお、本県代表の横手市山内消防団は小型ポンプの部に出場、健闘の結果優良賞(一〇位)を受賞しました。

また、今年大会には地元消防団をはじめ、大仙市消防団、由利本荘市消防団などから沢山応援に駆け付けていただきました。この場を借りましてお礼申し上げます。

更には、来年度の全国女性消防操法大会の準備に向けて、秋田県総合防災課や秋田市消防本部などから担当職員が現地視察して参りました。

本県の入賞は、平成二四年の第二三回大会において、小型ポンプの部に出場し、優良賞(九位)を受賞した三種町山本第四分団以来四年ぶりとなりました。



■全国大会に出場して  
指揮者 高橋 隆



会長激励あいさつ



初めての全国大会で入賞することができ、大変嬉しく思います。応援に感謝します。  
一番員 小林 勝也  
ご支援に感謝致します。今回の経験を糧に、より良い操法を目指して頑張ります。

## ■上位の成績

ポンプ車の部				
順位	都道府県名	消防団名	総合得点	タイム(注)
優勝	島根県	松江市消防団	185.0点	110.53秒
準優勝	石川県	志賀町消防団	185.0点	112.68秒
"	岡山県	和気町消防団	184.5点	110.75秒
"	兵庫県	南あわじ市消防団	183.0点	110.45秒

(注)第1線と第2線の合計

小型ポンプの部				
順位	都道府県名	消防団名	総合得点	タイム
優勝	三重県	伊賀市消防団	95.5点	41.58秒
準優勝	長崎県	大村市消防団	94.0点	42.14秒
"	静岡県	焼津市消防団	93.0点	42.54秒
"	長野県	川上村消防団	90.0点	40.80秒
優良賞	秋田県	横手市山内消防団	84.0点	43.72秒



二番員 鶴田 修  
目標の全国大会出場、そして入賞と良い経験が出来ました。ご協力に感謝します。  
三番員 小林 和也  
全国大会に出場でき良い経験になりました。協力してくれた皆さんに感謝します。  
補助員 田原 勝  
全国大会出場を支援、応援していただいたことに感謝と、更なる飛躍を目指します。



本県の応援席



激励交流会ステージ



操法大会の会場



選手と応援団



表 彰 式

### 婦人防火クラブと

### 消防団の合同訓練を

### 実施しました

九月一七日、能代市婦人防火クラブ鶴形地区と市消防団能代第一〇分団は、同市鶴形の釣潟神社で軽可搬ポンプの揚水訓練を実施しました。

鶴形地区は道路が狭く、火災発生時に消防車両が現場まで接近できない地域があり、自助・共助の意識高揚を図ろうと訓練を行いました。



市婦人防火クラブの会長はじめ、市消防団能代第一〇分団員や釣潟神社総代など約二〇人が参加しました。

同クラブの会員は、団員などから軽可搬ポンプのエンジンの始動や水のくみ上げ、放水までの一連の動作を学び、火災から地域を守る意識を新たにしています。

〔情報提供〕能代消防署



とが必要。各地区でこのような訓練の取り組みが広がれば」と話していました。



平成二八年秋の叙勲  
第二七回危険業務従事者叙勲

平成二八年秋の叙勲及び第二七回危険業務従事者叙勲の受章者が一月三日(木)に発令されました。

本県の消防関係では、秋の叙勲で二四名、危険業務従事者叙勲で一〇名が受章されました。十一月七日(月)午後一時三〇分から秋田県正庁において知事の伝達式が行われました。

また、消防庁長官の伝達は、秋の叙勲が十一月一日(月)ニッショーホール、危険業務従事者叙勲が十一月九日(水)総務省(合同庁舎第二号館)



で行われ、それぞれ叙勲伝達後、皇居において拝謁が行われました。受章者の皆様、誠におめでとうございませう。

平成二八年秋の叙勲

◆瑞宝小綬章(一名)

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部  
消防正監 里見 喜代治

◆瑞宝双光章(一名)

元由利本荘市消防団  
団 長 畠山 勉

◆瑞宝単光章(二二名)

元秋田市消防団	副 団 長 相 川 義 和
元仙北市西木消防団	団 長 浅 利 重 昭
元五城目町消防団	副 団 長 石 川 悦 運
元五城目町消防団	分 団 長 一 関 精
元仙南村消防団	分 団 長 小 田 長 良 吉
元秋田市消防団	副 団 長 菅 野 洋

元八郎潟町消防団

副 団 長 北 嶋 光 春

元秋田市消防団

分 団 長 小 松 三 之 丞

元にかほ市消防団

副 団 長 齋 藤 正 治

元仙北市消防団

団 長 佐 藤 生 治

元由利本荘市消防団

団 長 佐 藤 近 美

元横手市大森消防団

副 団 長 佐 藤 守

元大仙市消防団

副 団 長 佐 藤 芳 男

元八竜町消防団

分 団 長 清 水 芳 忠

元横手市雄物川消防団

分 団 長 高 橋 喜 一 郎

元大館市消防団

副 団 長 多 賀 谷 利 巳

元大仙市消防団

副 団 長 鳥 羽 武 治

元八竜町消防団

副 団 長 三 浦 幸 男

元湯沢市消防団

分 団 長 三 浦 甚 一 郎

元八郎潟町消防団

副 団 長 大 和 宗 悦

元大館市消防団

分 団 長 吉 田 一 男

第二七回危険業務従事者叙勲

◆瑞宝双光章(六名)

元横手市消防本部	消防司令長 加賀谷 長 吉
元能代山本広域市町村圏組合消防本部	消防司令長 鴨 田 次 郎
元秋田市消防本部	消防監 木 島 憲 悦
元由利本荘市消防本部	消防監 土 田 喜 一 郎
元秋田市消防本部	消防監 橋 本 鎮 雄
元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消防司令長 山 内 登

◆瑞宝単光章(四名)

元北秋田市消防本部	消防司令 秋 元 忠 雄
元男鹿地区消防一部事務組合消防本部	消防司令 伊 藤 弘
元秋田市消防本部	消防司令長 金 實
元男鹿地区消防一部事務組合消防本部	消防司令 渡 部 健 一



知事の伝達式

## 各地域における総合防災訓練の実施状況

### 能代市山本郡

開催日	平成28年5月26日 (木)
開催地	能代市ニツ井地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月26日(木)午前9時10分、巨大地震発生。</li> <li>・能代市ニツ井地区では震度6を観測。</li> <li>・市長を本部長とする災害対策本部を設置し、職員の招集、被害状況の確認、避難所の開設を実施。</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期消火、街区火災防ぎょ訓練</li> <li>・事故車両救出訓練、避難誘導訓練、応急救護所設置訓練</li> <li>・水防団の堤防超流対応訓練、河川氾濫による逃げ遅れ者救出訓練</li> <li>・煙体験訓練、応急食料炊き出し訓練</li> <li>・ライフライン復旧訓練等</li> </ul>
参加人員	250人 (16機関・団体)



### 鹿 角

開催日	平成28年10月16日 (日)
開催地	鹿角市十和田地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花輪東断層帯を震源とする地震想定。</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自主防災組織と秋田県立十和田高等学校の防災委員が災害時の連携協力を図るための訓練</li> <li>・初期消火訓練、避難訓練 (煙体験ハウス使用)、土のう作成訓練</li> <li>・搬送訓練 (簡易担架、徒手搬送)、応急手当訓練</li> </ul>
参加人員	99人 (4機関・団体)



### 秋 田 市

開催日	平成28年9月1日 (木)
開催地	秋田中央・東部地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月1日(木)午前8時50分、秋田市内陸を震源とする非常に強い地震が発生、秋田市で震度7を観測。</li> <li>・市内各地でライフラインが寸断、建物損壊等の被害が多発した。</li> <li>・中心市街地の中高層建物で火災が発生し、JR各線の運行車両は緊急停止、JR秋田駅付近においては、列車脱線事故により多数の傷病者が出た。</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シェイクアウト訓練、災害対策本部設置運営訓練</li> <li>・施設利用者避難訓練、避難所開設運営訓練</li> <li>・多数傷病者救助救出訓練、ライフライン復旧訓練</li> <li>・応急給食給水訓練</li> </ul>
参加人員	2,800人 (51機関・団体)



### 大 館 北 秋 田

開催日	平成28年8月28日 (日)
開催地	大館市花岡地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月28日(日)午前8時、大館地域を震源とするマグニチュード7.3の直下型地震が発生。大館市では震度7の揺れを観測。</li> <li>・災害対策本部を設置し情報収集したところ、家屋等の倒壊や火災危険物流出事故が発生、避難、安否確認及び負傷者の救出、救護活動を開始した。</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時避難訓練、情報収集訓練、災害対策本部設置運営訓練</li> <li>・避難広報訓練、避難行動訓練、危険物流出事故対策訓練</li> <li>・土砂洪水対処訓練、火災防ぎょ訓練、避難所開設訓練</li> <li>・倒壊建物救出訓練、防災へりつり上げ救助訓練</li> </ul>
参加人員	570人 (26機関・団体)



平成28年度秋田県総合防災訓練は8月21日(日)、秋田県、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、消防、警察、自衛隊など60機関から約2,700人が参加して行われました。(秋田県総合防災課)

★紙面の関係で、男鹿潟上南秋支部の状況は、8頁に掲載しております。

## 横 手 市

開催日	平成28年9月4日(日)
開催地	横手市大雄地域
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月4日(日)午前9時、横手盆地真昼山地連動型地震が発生。地震の規模はマグニチュード8.1と推定される。</li> <li>・災害対策本部を設置し情報収集を行ったところ、多くの家屋等の倒壊が発生、避難、安否確認、災害時要配慮者の支援、救護活動を開始した。</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民主体の避難所運営訓練、避難行動要支援者の避難支援訓練</li> <li>・医療救護訓練、罹災証明業務訓練</li> <li>・職員初動マニュアル及び非常連絡網の検証</li> </ul>
参加人員	300人(11機関・団体)



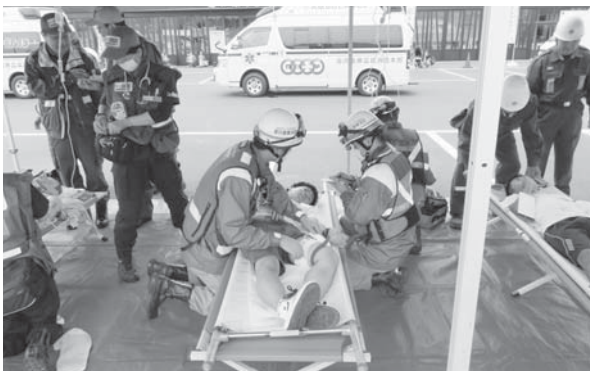
## 由利本荘にかほ

開催日	平成28年9月4日(日)
開催地	由利本荘市鳥海地域
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月4日(日)午前8時、北由利断層を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、鳥海地域で震度6弱を観測した。</li> <li>・地震の影響により家屋の倒壊や火災が発生したほか、大型観光バスと乗用車の交通事故により多数の傷病者も出た。</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多数傷病者事故対策訓練、炊き出し給水訓練、初期消火訓練</li> <li>・建物火災防ぎょ訓練</li> </ul>
参加人員	500人(12機関・団体)



## 湯 沢 市 雄 勝 郡

開催日	平成28年9月7日(水)
開催地	羽後町役場周辺
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月7日(水)午前8時30分頃、秋田県南部を震源とする強い直下型地震が発生、震源の深さは約15km、マグニチュード6.8と推定、羽後町は震度6強と発表された。</li> <li>・羽後町地域防災計画に基づき、町役場庁舎に町長を本部長とする災害対策本部を設置。町民の安否確認及び被害の拡大防止に向けた活動を開始した。</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策本部設置運営訓練、街区火災防ぎょ訓練</li> <li>・座屈倒壊建物からの救出訓練、多数傷病者対応訓練</li> <li>・建物火災総合訓練</li> </ul>
参加人員	300人(16機関・団体)



## 大 仙 仙 北 美 郷

開催日	平成28年5月24日(火)
開催地	大仙市大曲地域
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月24日(火)午前9時10分頃、秋田沖を震源とするマグニチュード8を超える地震が発生し、大曲地域では震度6弱を観測した。</li> <li>・災害対策本部を設置し災害調査を開始、各関係機関や住民相互協力のもと被害は最小限に食い止められた。その後、秋田県日本海沿岸部に大津波による被害情報が入り、後方支援対策本部へ移行した。</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街区火災初期消火訓練、倒壊建物救出訓練</li> <li>・道路放置車両等撤去及び道路警戒訓練、避難所開設訓練</li> <li>・大仙市後方支援本部設置運営訓練</li> </ul>
参加人員	2,000人(40機関・団体)



# 第六期 女性消防団員教育

秋田県消防学校



第六期女性消防団員教育は、一〇月二九日(土)、三〇日(日)の二日間、秋田県消防学校(由利本荘市岩城)において県内五消防団から一〇名が参加して行われました。

入校式で、秋田県消防協会中田潤会長は「女性消防団員は年々増加しており、五年前の平成二三年と比較し、女性団員を採用している消防団

は四団増え二一団となり、団員数も二一五人から一六九人増の三八四人となっている。

また、消防活動においても、地域住民の安心・安全に対する関心の高まりなどで、その内容も多様化、専門化してきており、とりわけ女性消防団員には、住宅用火災警報器の普及促進、独り暮らしの高齢者宅への訪問、住民に対する防災教育や応急手当の普及指導の面での活躍が期待されている。」と述べられました。

### ■研修内容

講話(県消防協会長)

消防活動訓練(訓練礼式、消火訓



練、放水要領、ホース延長、結  
索要領、煙体験、地震体験)  
救急訓練(応急手当講習)  
各団の活動紹介  
意見交換

### ■受講生名簿

大館市	部長	高清水タマ子
大館市	団員	藤原 清美
北秋田市	副分団長	佐々木久子
北秋田市	班長	松岡 明美
男鹿市	団員	秋山 詩歩
男鹿市	団員	越後 智恵
由利本荘市	団員	石川 雪子
由利本荘市	団員	谷野 朋子
大仙市	団員	茂木 未来
大仙市	団員	伊藤 優子

消防半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

## 寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
消防被服全般  
秋田県代理店

総合防災設備センター

## 株式会社 高 義 商 会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
TEL(0183)(42)2125  
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

## 株式会社 夕 力 ギ

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182)(32)3880  
FAX (0182)(32)0839

### (営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンバイホース
- シバウラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)

# 平成28年度 防火ポスターコンクール募集要項

- 1. 目的** 少年少女の防火意識を高めるとともに、一般県民の防火思想の普及啓発を図ることを目的とする
- 2. 主催** 秋田県・(一財)秋田県消防協会
- 3. 後援** 秋田県教育委員会・秋田魁新報社・NHK秋田放送局
- 4. 募集規定**
- (1) ポスター
    - イ 色数、表現方法は自由とし、防火思想の普及に適するものであること
    - ロ 大きさはB3版又は画用紙四つ切大(54cm×38cm)程度であること
    - ハ 一人一点とする
  - (2) 応募資格 県内の小・中学校の児童生徒
  - (3) 募集期間 平成28年11月1日～12月31日(12月31日の消印有効)
  - (4) 審査 学識経験者・秋田魁新報社・NHK秋田放送局・秋田県(一財)秋田県消防協会で構成する審査会において行います。
  - (5) 入賞発表 平成29年2月上旬頃、秋田魁新聞紙上にて発表
  - (6) 賞 次の入賞者には、学校を通じて賞状と図書カードを贈呈します。  
小学生の部 一席1名、二席2名、三席3名、佳作10名まで  
中学生の部 一席1名、二席2名、三席3名、佳作10名まで  
一席5,000円 二席3,000円 三席2,000円 佳作1,000円
- 5. 募集条件**
- (1) 応募は未発表の作品に限る。
  - (2) 応募作品は原則として返却できません。(返却を希望される場合、選外作品に限り送料着払いにてお返ししますので、事前にお申し出ください)  
入賞作品の著作権は主催者に帰属します。
  - (3) 募集規定に違反した作品は採用いたしません。
  - (4) 作品には市町村名、学校名、学年、氏名(ふりがな)、性別を記入した**名札(たて6cmよこ20cm程度)を作品の右下に必ず貼り付けてください。**  
【記入例】 ※ふりがなは必ずご記入ください。

市町村名	学 校 名	
	(ふ り が な)	性
学 年	氏 名	別

- 6. ポスターの作製**  
一席に入賞した作品どちらか1点で防火ポスターを作製しますので、**作者の学校名・学年・氏名をポスターに記載することを予めご了承ください。**
- 7. 送り先** 〒010-0951 秋田市山王4-1-2 秋田地方総合庁舎5階  
(一財)秋田県消防協会あて お問合せ先 TEL 018-867-7320  
※ 作品を送付される場合、送料は応募者をご負担ください。

平成27年度作品



大仙市立内小友小学校  
森元 菜夏さん



秋田市立御所野学院中学校  
山根なつみさん



仙北市立桧木内小学校  
門脇 帆渚さん



美郷町立美郷中学校  
伊藤 日菜さん

平成26年度作品

支部情報アラカルト

横手市支部各種研修会を

実施しています

横手市支部では、秋の火災予防運動に向けた各種研修を実施しています。一〇月二二日(金)は、横手市内の火災予防組合員や婦人防火団体等指導者を対象とした「横手市火災予防組合研修会」を開催しました。

横手市消防本部予防課鈴木勉課長を講師として招き、今年四月に甚大な被害をもたらした熊本地震の被害状況の確認と、地震がきたらとるべき行動や対策、地震がきても冷静に対応できるような身近なところからコツコツとできる備えについて講話をいただきました。第二部では、冬に起こりがちな石油ストーブなどの暖房器具を原因とした火災を未然に防ぐため、日常生活で気をつけたいポイントを紹介していただきました。



研修には支部の役員も出席し、常日ごろからしっかりと災害の怖さを

意識し、もしもの時のための対策を講じてこそ、本当の意味での防災につながることを認識しました。

火災予防運動期間中は、横手市各地域における駆け付け放水訓練と防火パレードの実施、十一月一二日(土)には入団三年未満の消防団員を対象とした教養研修、災害時にポンプ車等の機関員として活動する消防団員を対象とした機関員教養研修を同日開催しました。

消防団員の資質向上、各種災害における的確な対応と消防団の活性化推進につながることを期待し、今後研修を重ねてまいります。

(情報提供 横手市支部)

男鹿潟上南秋

Table with 2 columns: 開催日, 開催地, 訓練想定, 主な訓練内容, 参加人員. Details include date (Nov 10, 2016), location (Gomayama), and participants (2,000).



火災の発生状況(速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

Table showing fire occurrence statistics for 平成28年, 平成27年, and comparison. Columns include 建物, 林野, 車 輛, その他, 合計, 死者数, 負傷者数.

モリタ消防ポンプ 桜ホース・ソフト吸管 各種消火器 シバウラポンプ 消防被服一式 消防機器一式

株式会社 能代消防センター 株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57 TEL (0185) (52) 6494 (52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!



猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代) 山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651